

「議場のモニターが議会の傍聴に一役を」

中央 吉田 健二

第一弾の新型コロナウイルス緊急事態宣言解除になり、自粛ムードも少々緩和に向かい始めたので、定例の町議会にビデオ撮影を兼ねて傍聴しました。この日議場の雰囲気は怪しげでした。傍聴座席が一人置きソリヤルディスプレイです。一般質問も午前の三人と絞られたプログラムです。議員や関係者はすべてマスクをしていました。

開始時の傍聴者は私一人で、後にお二人が着席し、計三人です。私は数年前から町のビデオレポーターとして事務局に許可を得て一般質問のビデオを少しずつ撮り貯めています。二年ほど前に傍聴したとき、発言者の顔が見えず、後姿についてやや不満がありました。発言者の様子と回答者の応酬も議場の大切な

な雰囲気です。ローカルテレビの実況を見ているよりも生のやり取りこそ来た甲斐があるというもの。議論に対する熱意や人柄に触れて初めてこの場に臨んで町の暮らし方の羅針盤が伝わるはず。後日町の議員さんたちとまじりくり委員会の交流会でそのことを事務局に伝えたと、早速テレビ中継画像のモニターを傍聴席に向けて置いてくださいました(写真1)。その後モニターテレビは、どうやら毎回活躍しているようで、ある時小学生の生徒さんたちが社会勉強に来た時に生徒さんの視線はわからなかったけれど、多分モニターも見てくれていたのだらうと勝手に思いました(写真2)。



(写真2) 栗が丘小学校6年生の議会学習



(写真1) 市村町長の答弁

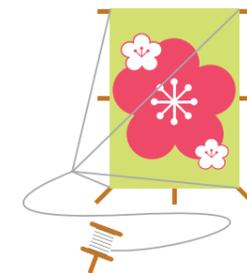
変えることもなければよいですが、コロナ禍問題や防災の質問も答弁もマスクの中で声を絞り出す姿がモニターを通して伝わってきまがらこの場の活動情報を伝えたい、災いを知恵とマナーで払い除けていきたいものです。

編集後記

今回の六月会議開催にあたり、台風19号災害の復旧処理事業や新型コロナウイルス対策の膨大な事務の迅速な処理、その上可能な幹部職員を突然失うという事件も重なったため、職員の事務負担軽減と心情を慮って、多くの議員が一般質問を辞退しました。質問に立った三名の議員も、緊急度の高いテーマに絞り、控え目に質問されたのではなにかと思われま

また、新型コロナウイルスの影響で、議会と諸団体との意見交換会など、多くの議会活動が制限されたため、今号の「議会だより」は今までにないページ数削減の薄いものとなりました。しかし、町

民の皆さんへの、開かれた議会を目指す熱(厚)い思いに変わりはありません。今後ともご愛読を宜しくお願い致します。何かと困難な時代を迎えています。向かい風こそ風(多幸)はあがる(チャール)とか、お互い頑張って乗り越えましょう。



発行責任者	議 長	関 悦子
議会広報常任委員会	委員長	中村 雅代
	副委員長	竹内 淳子
	委員	関 良幸
		小淵 晃
		関谷 明生
		渡辺 建次
		関 悦子



鴻山館のおじさい



伝統野菜小布施丸ナス



今最盛期のネクタリン

- 6月会議がスタート 議案・補正予算… P 2～3
- 4・5月会議のあらまし…………… P 4
- 新型コロナウイルスに対する議会対応… P 5～6
- 新たな議会活性化特別委員会・政策立案常任委員会研修 …… P 6
- 一般質問 (3名) ……………… P 7～9
- 小布施町議会改革のあゆみ…………… P 10～11
- 議会傍聴記…………… 裏表紙

第4号補正予算 (3,780万円)

<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎玄関自動ドア等改修工事…369万4千円 正面入り口自動ドア他の1か所 ・千曲川堤外地町道舗装修繕工事…3,000万円 排土により傷んだ道の舗装道路全面打ち替え ・小学校プール修繕……………40万円 15年経過したプール床面の舗装修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・北斎ホール暖房温水ポンプ他交換修繕工事 52万8千円 地下機械室内の温水ポンプ ・給食費の公費負担費…………… 177万8千円 小中学校の4～5月分について無償とする <p style="text-align: right;">他</p>
---	---

条例の一部を改正する条例 7件

<ul style="list-style-type: none"> ・小布施町税条例の一部を改正する条例 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方税の対応 〈全員賛成〉 ・小布施町特定教育・保育施設及び特定地 域型保育事業の運営に関する基準を定め る条例の一部を改正する条例 〈全員賛成〉 ・小布施町家庭的保育事業等の設備及び運 営に関する条例の一部を改正する条例 〈全員賛成〉 ・小布施町放課後児童健全育成事業の設備 及び運営に関する基準を定める条例の一 部を改正する条例 〈全員賛成〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・小布施町後期高齢者医療に関する条例の 一部を改正する条例 〈全員賛成〉 ・小布施町国民健康保険条例の一部を改正 する条例 新型コロナウイルス感染症に係わる「傷 病手当金」 〈全員賛成〉 ・小布施町介護保険条例の一部を改正する 条例 消費税の10%引上げによる公費投入の完 全実施に伴い、市町村民税非課税世帯の 低所得高齢者の保険料軽減を強化 〈全員賛成〉
--	--

規約の変更

◎長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
(東筑摩郡筑北保健衛生施設組合の脱退によるもの) 全員賛成

請願

第1号 義務教育国庫負担金制度の堅持・拡充を求める請願 全員賛成
第2号 国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願 全員賛成
第3号 種苗法の一部を改正する法律案の慎重審議を求める請願 賛成多数

陳情

第1号 妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情 全員賛成

6月会議がスタート

令和2年6月会議は6月1日から12日まで開会し、初日、町長から町政運営等について説明がありました。議事内容は主に新型コロナウイルス感染症拡大防止の強化と町民生活と事業者等への支援事業に関連するものでした。また、コロナ感染防止のため、一般質問の内容、質問者数をしぼるとともに、議場内にアクリル板を設置し、座席の間隔を開け、マスクを着用する、換気に留意するなど、コロナ対策に配慮した運営を行いました。

可決した主な議案

- ◎新型コロナウイルスに関する経済対策、
感染症防止対策事業(第3号) 1億1,814万2千円
- ◎小布施国民健康保険条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルス感染症に関わる「傷病手当金の支給」
- ◎学校給食費4～5月分については無償化(第4号)
177万8千円
- ◎栗ヶ丘小学校トイレ改修工事請負契約の締結
北野・黒崎特定建設工事共同体 1億3,090万円

審議案件

町長提出議案	条例改正	7件
	補正予算	3件
請願 陳情	規約の変更	1件
	契約	1件
		3件
		1件

一般会計1億5,594万2千円の補正予算を可決

第3号補正予算 (1億1,814万2千円)

<p>(新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金活用事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券の販売 1,628万9千円 500円券×26枚=13,000円分を 1セット10,000円で5千セット限定 ・コロナウイルス終息後の街の賑わい創出事業 300万円 ・住宅リフォーム等促進事業 200万円 町内施工業者に発注して住宅等の改修等に要 した経費の一部を補助 100件×20万円(限度額) 補助率は工事金額の20% ・商工業者等家賃補助金 1,200万円 コロナウイルスの影響を受け、売上の減少し ている事業所 3月～5月分の店舗賃借料補 助 補助率3分の1(20万円限度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・休業要請対象外事業所等交付金 600万円 県の協力支援金該当外の事業者(土産物店等) ・テークアウト、デリバリー支援補助金 200万円 非対面販売を始めた飲食店に 1事業所 10万円限度で 20事業所 ・子育て世帯臨時給付金 1,625万円 児童手当の受給世帯 1,480世帯に1万円給付 ・小布施町ひとり親家庭応援事業 300万円 一人2万円で150人分 ・商店街等活性化事業費 2,300万円 経営健全化資金保証料補助金 経営健全化資金利子補給金 他
---	--

新型コロナウイルスに対する議会の対応

町では2月27日、新型インフルエンザ等対策本部条例に基づき、新型コロナウイルス感染対策本部を立ち上げ、感染防止の取り組みとして、当面は2月27日(木)から5月31日(日)まで、催事等開催の延期又は中止、子育て・幼児教育・学校教育施設の休校並びに文化教育施設の臨時休館などを行いました。

このような町の新型コロナウイルスへの対応と足並みを揃えながら、議会の機能が停滞しないように、安定的な運営と町の迅速な対応を支援するため次の活動を徹底しました。

1 小布施町議会としての危機管理

- (1) 令和2年3月に策定した「小布施町議会業務継続計画（議会BCP）」に準じた対応をするため、「小布施町議会新型コロナウイルス対策会議」を設置する。
- (2) 発熱や風邪症状が見られる場合には、本会議や委員会への出席を自粛する。
- (3) 議員として次の感染防止の徹底を図る。
 - ア 感染の拡大が続く地域への旅行や訪問などは自粛する。
 - イ 報道されているクラスターの発生が懸念される場所や活動への参加を自粛する。
 - ウ 事前に自宅での検温を実施し、37.5℃以上の発熱や風邪症状、吐き気、下痢、体のだるさがある場合には、来庁を自粛する。
 - エ 家族が感染の拡大が続く地域を往来した場合には、感染対策の予防を徹底し、接触を極力避ける。
- (4) 発熱（37.5℃以上）が3日以上続き、体温が下がらないなど体調が悪い場合には、早めに「かかりつけ医」へ相談（電話）しPCR検査の受検等について相談する。その際には、必ず議会事務局へ連絡する。家族も同様とする。
- (5) 新型コロナウイルスの患者が発生した場合には「小布施町議会新型コロナウイルス対策会議」において日程変更も含めた対応態勢を検討する。
- (6) 傍聴者が、「健康確認シート」において、体調不良を申告した場合は、傍聴の自粛を要請する。

2 本会議・委員会運営

- (1) 手洗い・咳エチケットの徹底
- (2) マスクの着用
- (3) 傍聴者の対応
 - 傍聴を希望される方には「健康確認シート」の記入協力を呼びかける。
- (4) 「3密（密閉、密集、密接）」空間の改善

3 執行機関との情報収集・問合せ

- (1) 議員から執行機関への問合せ（議員⇒執行機関）
 - 緊急の場合を除いて執行機関への問合せは、議会事務局で集約し該当する所管課に持ち込む。
- (2) 執行機関から議員への情報提供（執行機関⇒議員）
 - 執行機関から議員への情報提供は議会事務局を通じ統一的に行う。



議場に間仕切りによるソーシャルディスタンス導入



委員会での密接回避の様子（一部腰掛実施等）

4月会議 4月22日に4月会議を行い、補正予算2軒、工事契約2件を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

補正予算

○一般会計	1億466万3千円	・おぶせミュージアム機械室内改修工事	
・防災・環境政策推進委託料	500万円	・災害廃棄物等処理委託料	3,704万8千円
・公会堂等空調設備設置事業補助金	388万5千円		400万円
・統合型GIS構築対応デジタルオルソ作成委託料	258万5千円	○下水道事業特別会計	
・生活支援ハウス特殊浴槽購入	1,060万円	・実施設計書作成委託料	517万円
・わかば保育園給食室食器洗浄機修繕料	29万4千円		
・わかば保育園給食室冷凍冷蔵庫購入費	66万8千円	工事契約	
・台風19号職員派遣経費	213万円	・台風19号災害残土処分1工区地区工事請負契約の変更	
・災害忌慰菌関係経費	31万1千円	〈契約金額〉変更前	1億6,919万1千円
・ガイドセンター管理委託料	174万2千円	変更後	2億8,248万円
・統合型GIS構築対応道路台帳数値化業務委託量	759万円	〈契約期間〉	
・橋梁補修工事設計委託料	132万円	変更前	令和2年2月20日から4月24日まで
・橋梁補修工事	2,628万円	変更後	令和2年2月20日から7月31日まで
・下水道事業特別会計繰出金	7万円	・台風19号災害残土処分3工区地区工事請負契約	
・公園費	114万円		6,700万1千円

5月会議 5月14日に5月会議を行い、補正予算1件を審議し、原案のとおり可決しました。

補正予算

○一般会計	12億932万6千円	・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等負担金	600万円
・庁舎配水管布張替工事	289万9千円	・教材備品タブレット購入費（小学校）	
・特別定額給付金事業費	11億1,785万9千円	・教材備品タブレット購入費（中学校）	
・子育て世帯臨時特別給付金給付事業費	4,410万円		
	1,419万6千円		
・感染症予防対策事業費	187万2千円		2,240万円

Q 昨年末から世界的な猛威を振るう新型コロナウイルス。日本では今年5月に入り「緊急事態宣言」の解除が出されました。しかし感染力の強いウイルスは今後第2波、第3波となつて猛威を振るうことが心配されています。当町の対策について質問します。

A ①基本的には幼保小中学校とも3密にならないよう工夫し、席と席の間隔をあける、換気手洗いの徹底、給食時の配膳による感染防止配慮、施設の消毒実施、保護者の協力を得た検温と健康状態の報告をお願いしていきます。

老人福祉施設に関しては、マスクの配布、感染拡大防止関連情報提供に努め、今後も感染の発生

Q ②基本的には国や県が購入確保されたものを順次配布して支援されるものと考えますが、医療機関の状況にも注意し、物資の確保が困難な場合には支援することも考えます。今後町としてはマスクの備蓄をしていきます。

A 福祉施設では、マスクの備蓄に不安がある布マスクを使っていると聞きます。聞き取りはしていますか。医療機関への支援状況の聞き取りはしていますか。役場来訪者は車で待つてもらえる方法が考えますか。

A 福祉施設、医療機関には状況を確認します。感染拡大時には車内でお待ちいただくことも考慮します。

Q ③施設内のこまめな喚気と大勢の人が集まる密集密接を回避する対策を講じ、利用者の協力を求めたいです。

A 福祉施設では、マスクの備蓄に不安がある布マスクを使っていると聞きます。聞き取りはしていますか。医療機関への支援状況の聞き取りはしていますか。役場来訪者は車で待つてもらえる方法が考えますか。

A 福祉施設、医療機関には状況を確認します。感染拡大時には車内でお待ちいただくことも考慮します。

Q ①クラスター発生防止の対応についての幼保園・小中学校、老人福祉施設の対策について

A ①基本的には幼保小中学校とも3密にならないよう工夫し、席と席の間隔をあける、換気手洗いの徹底、給食時の配膳による感染防止配慮、施設の消毒実施、保護者の協力を得た検温と健康状態の報告をお願いしていきます。

老人福祉施設に関しては、マスクの配布、感染拡大防止関連情報提供に努め、今後も感染の発生

県内の避難所に設置された簡易テント

予想される新型コロナウイルス第2波の感染拡大の対応について

永井健康福祉課長
福祉施設・医療機関の状況確認・密集密接を回避する対策を講じます

避難所のウイルス感染予防対策について

大宮総務課長
早急に検討していきます

Q 昨年末から世界的な猛威を振るう新型コロナウイルス。日本では今年5月に入り「緊急事態宣言」の解除が出されました。しかし感染力の強いウイルスは今後第2波、第3波となつて猛威を振るうことが心配されています。当町の対策について質問します。

A ①クラスター発生防止の対応についての幼保園・小中学校、老人福祉施設の対策について

②医療施設支援について

③役場など公共施設の予防対策について

Q ②基本的には国や県が購入確保されたものを順次配布して支援されるものと考えますが、医療機関の状況にも注意し、物資の確保が困難な場合には支援することも考えます。今後町としてはマスクの備蓄をしていきます。

A 福祉施設では、マスクの備蓄に不安がある布マスクを使っていると聞きます。聞き取りはしていますか。医療機関への支援状況の聞き取りはしていますか。役場来訪者は車で待つてもらえる方法が考えますか。

A 福祉施設、医療機関には状況を確認します。感染拡大時には車内でお待ちいただくことも考慮します。

Q ③施設内のこまめな喚気と大勢の人が集まる密集密接を回避する対策を講じ、利用者の協力を求めたいです。

A 福祉施設では、マスクの備蓄に不安がある布マスクを使っていると聞きます。聞き取りはしていますか。医療機関への支援状況の聞き取りはしていますか。役場来訪者は車で待つてもらえる方法が考えますか。

A 福祉施設、医療機関には状況を確認します。感染拡大時には車内でお待ちいただくことも考慮します。

Q 児童の不安、保護者のストレスは相当高まったと思います。家庭学習についても環境が整わない家庭の対応と、今後休校措置を取らざるを得ない状況にはタブレットを使って先生やスクールソーシャルワーカーとの相談は考えるか伺います。

A 小学校の休業中の学習については、プリントにして取り組みやすくし音楽や図工など実技、生活表で規則正しい生活への支援など工夫をしました。中学校は、細かく学習範囲を提示し、補助プリントで苦手な生徒も理解しやすいように配慮し、家庭訪問や電話による生徒の様子把握をしました。今後休校措置が出た場合にはタブレットの導入により生徒の学業、生活に対応していきます。

6月会議一般質問は時宜にかなう緊急性・必要性があるものに限定

一般質問は、政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとって、最も意義のある発言の場であり住民からも重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動であります。町議員も一般質問は議員としての責務であり使命であるとの認識で、今まで議長を除く大方の議員は行ってきました。一般質問は、議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、質問する議員も、受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要です。今回新型コロナウイルスの感染拡大防止への取り組み、特別定額給付金（10万円）の迅速な事務処理による早期支給及び町独自の支援策として活用できる地方創生臨時交付金の計画策定等のため、町側が最優先課題として取り組んでもらうために、町事務処理業務に支障が出ないように6月会議一般質問はこの時宜にかなう緊急性・必要性のあるものに限定し、議員各々の判断により議会として協力することにしました。

**議会政策アシスター会議
新たな議会活性化特別委員会**

新たな議会活性化検討特別委員会
委員長 小林 一広

議会では、昨年の町議会議員選挙後に新たに「小布施町議会・新たな議会活性化検討特別委員会」を立ち上げ、「小布施町議会政策アシスター会議」を創設することといたしました。より身近な議会であるとともに、気軽に住民の方に要望、提言、ご意見を言っていただき議会運営に反映させていくものです。今、議会ではアシスターの方を受け入れる体勢が整っているのですが、6月9日に委員会を開き募集の検討をいたしました。今般のコロナ過の状況下、まだ募集を実行することが困難と判断いたしました。募集の時期については、行政の事業状況と照らし合わせながら実行したいと考えています。その時には、是非、多くの皆様方の応募をお待ちしております。

**議会ICT化デモンストレーション実施
政策立案常任委員会**

7月1日、かねてより政策立案常任委員会にて調査されておりました議会ICT化のペーパーレス議会について、ソフトウェア開発会社によるデモンストレーションが議会会議室にてリモートで実施されました。実際に1人1台ずつタブレットを使いながらシステムを体験しました。





小林正子議員

町民の命と生活を守る対策は 二つの災害の教訓 役場職員の健康保持の対策を

市村町長 職員の健康維持は急務
面談ケア、長時間勤務と遍重改善、
正規職員増に努める

Q コロナ禍で日本は世界的に死亡者が少ない。生命と人権、生存権尊重という日本国憲法の考え方が根付いているのも一因と考えられる。台風、コロナ禍と、役場職員は町民の命と生活を守るため激務を懸命に働いてこられた。心より感謝します。安定的に町民を守る職責を果たせるよう全庁体制や職員増、心身の健康保持体制を教訓として構築いただきたい。

A 職員の健康維持は急務と考えます。管理職も含めた全職員への面談、長時間勤務の実態把握、柔軟な人事配置で、偏った業務負担が起きないように取り組みます。職員の増員も検討します。責任を分かち合える正規職員を増員すべきです。

Q 自立選抜後の財政状況下で職員削減を余儀なくされてきた。正規職員増をはかりたい。

A 職員の健康維持は急務と考えます。管理職も含めた全職員への面談、長時間勤務の実態把握、柔軟な人事配置で、偏った業務負担が起きないように取り組みます。職員の増員も検討します。責任を分かち合える正規職員を増員すべきです。

休校中の学校の取り組みは
中島教育長
学校は子どもを見守り
つづけました

Q 休校中の学校で学習と交流維持の取り組みはどうか。

A プリントや生活表、訪問・電話で生徒の学習と生活を支援。児童生徒の交流にグラウンドを開放、学年通信や寄せ書きで友だちの様子を知らせ合った。今後オンライン環境整備を進めます。



Q 心身の育ちが大切。授業時数確保だけにしないよう、夏休み短縮で取り戻したい。運動会・音楽会も実施。

A 心身の育ちが大切。授業時数確保だけにしないよう、夏休み短縮で取り戻したい。運動会・音楽会も実施。

一人ぐらし高齢者に保健師さん訪問 町独自の子育て支援
永井健康福祉課長
感染リスクを考慮しつつ
100%実施へ
益満課長補佐
食費の増加などへ
国支援に上乗せ給付

Q 対面自粛だが保健師さんなら感染対策して可能では。

A 保健師・社会福祉士が「お元気コール」で276名中214名と対話、希望者宅を訪問。健康を心配したが畑仕事等で元気に過ごされていた。民生委員さんとも情報共有し、継続対応します。自粛で子育て世帯の負担は相当。町独自の支援策を。国の給付に1万円上乗せより幅広く支給。別に、ひとり親家庭と就学援助受給家庭に18歳まで2万円を給付します。

小布施町の影響額はどうか
富岡産業振興課長補佐
具体的に把握できていません
Q 自粛や休業による町民の損害額は。事業者への補償は。

A 損害額は把握できていない。国や県の支援策で対応。プレミアム商品券にも取り組む。
国の10万円給付は
受付窓口から相談へ
須藤企画政策課長
93%に届きました
大宮総務課長
支援策を周知

Q 国の10万円給付は順調に支給されていますか。手続き困難世帯へは出向いて説明を。

A 一刻も早く健康福祉課とも連携して進め、現時点で93%に届きました。感染防止対策を行い、個別に直接訪問での対応もします。
Q 窓口の対応から困りごとを察知して相談への対応を。支援策を周知し、支援が行きわたるよう努めます。



福島浩洋議員

千曲川堤防補強計画の進捗状況は

畔上建設水道課長 右岸堤防の越水対策を
強く要望していく

不幸にして災害に遭われた方々全員が小布施にこれからも住み続けることとです。地域の愛着に敬意を表します、そのような中で千曲川を管理する国と千曲川河川事務所では、今回の堤防決壊を検証するなかで、今後の堤防補強として全体を包み込む「被覆型」堤防を採用することとしています。

Q 併せて千曲川の水位を下げることを基本に河道掘削や遊水池を設置することなどを2027年度の早い時期までに段階的に行うことを発表されました。

A 千曲川河川事務所の計画発表では、全体被覆型工法により決壊しにくい堤防としながらも「現在の技術では絶対に決壊しないとは言えないが、今後は住民の意見に寄り添い堤防の補強整備をする」と発言、町行政側とのすり合わせ協議はどのように行われていますか。

Q 河川事務所が現在対策工法の詳細について検討を行っている段階と聞いている（5月27日に説明を受けた）。「令和元年東日本台風出水」の被害状況を踏まえ右岸堤防の越水対策を強く要望していきます。

A 堤防被覆型工法の採用に伴う「町民憩いの場」となっている桜並木の保存について、どのように考えているのか。堤防の天端を全面的に被覆しなくても強化は可能な場合もあるとの回答をいただいた。今後、具体的な工法検討に際し、町も一緒に検討していきたくと考えています。

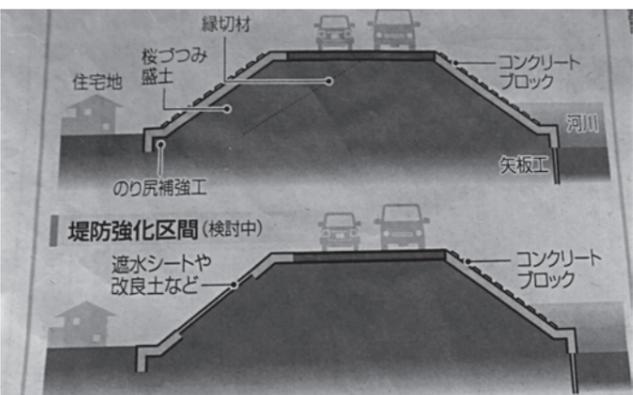


「町民憩いの場」の千曲川桜堤



小布施町堤防補強区間

Q 発表されている河道掘削部の概要と規模は、相当数のダ



全体被覆型工法による補強堤防

ンプカーの往来が予想され、沿線住民への説明などが必要と思われるが、どのように考えていますか。
A 現在、河道掘削は下流の2か所が計画されているが、整備状況を踏まえ段階的に行う予定と聞いております。町として河道掘削のほか砂利採取等、河川整備を要望していきます。
なお、河川整備の住民への説明は行われるものと思っております。

議会活性化特別委員会の設置

平成20年1月24日

平成19年4月の町議会議員選挙は定数18名から14名に削減して実施されました。その結果新人議員が7名と半数を占め、議会の新しいあり方と議会改革をするために設置されました。(竹内宏美委員長)

以後、今日まで議会改革が進められています。

政策立案特別委員会の新設

平成21年5月7日

住民の皆さんの声やご提案を町政に反映して行くには、そのご提案を議会として調査・検討をし政策として立案をして実現をすることです。

全国でも初めての政策立案特別委員会の新設で、翌々年の全国町村議会議長会の表彰に繋がります。

反問権・一問二答の導入

平成21年6月1日

一般質問は議員の質問に対し理事者は答弁しかできませんでしたが、理事者側に反問する権利を付与し、議員の一方的質問をけん制し、議論を深めます。

一問一答は質問の項目ごとに答弁がなされ、議論の焦点を絞り深掘した議論ができます。

陳情・請願者に説明の機会を

平成24年6月会議

住民の皆さんより「陳情書」「請願書」が議会に提出されます。それぞれ切実な要望があります。従来は書面にて理解をして採択の可否を決めていました。

しかし請願者等に委員会にご出席いただき、直接ご本人の「生の声」をお聞きし、より深い理解のもと採択の可否を決めています。

議会基本条例の制定

平成24年10月1日

議会基本条例は、議会のあるべき姿、議会と議員が負わなければならない責務などを明記し、議会及び議員の活動の活性化と充実に必要な議会運営の基本事項を定め、町民に信頼され、町民に開かれた議会を目指すことを明文化したものです。

議会と議員にとっては自らに責任を負わせるものだけに、制定をしている議会は多くはありませんが、小布施議会の議会改革の強い決意です。

各種団体との意見交換会定

歴代通年

町民の皆さんのご意見・ご要望を町政に反映すべく、以前から積極的に意見交換会を開催しています。

小布施町農業委員会
小布施町教育委員会及び小・中学校

議会報告会の開催

平成22年2月13日

議会の活動を町民の皆さんに報告し、皆さんのご提案をお聞きし政策に反映をさせるために開催いたしました。第1回目は気軽にご参加いただけるように、新たに新築された「まちとしゃテラス」のロビーで開催しました。

以来、今日まで地域にお伺いする「出前報告会」も取り入れ、町民の皆さんに気軽にご参加いただける工夫をしております。

通年議会の導入

平成22年3月17日

通年議会になりますと議会や委員会がいつでも開催できます。従来の3・6・9・12月定期議会の開催でなく、懸案事項が出ましたら直ちに議会が開催され、敏速な対応が可能となりました。

北海道白老町、宮城県蔵王町
北海道福島町、神奈川県開成町
千葉県長生町、長野県軽井沢町に続いて全国で7番目でした。

議会視察に全国から来町

平成22年度

小布施町議会の議会改革の視察に全国各地の議会からお出でいただきました。

北は北海道江別市議会をはじめ南は長崎県

小布施町自治会連合会

小布施町文化協会

小布施町部落解放同盟

小布施町土地改良区

小布施町まちづくり委員会

小布施町老人クラブ連合会

議員定数等検討特別委員会の設置

平成27年4月

議会議員選挙が2期連続で無投票であったので、議会内に議員定数等検討特別委員会を設置しました(関悦子委員長)

議員のなり手不足検討会の設置

平成31年8月24日

来る4月に実施される議会議員選挙が「3期連続の無投票」にならないため、何とか選挙で議員は選んでほしい。そのために議会として「議員のなり手不足検討会」を、公募の町民10名と議員6名で設置しました。

議員のなり手不足は全国的な課題のため、小布施町議会の取組みはテレビで全国に放映され関心は高まりましたが「3期連続の無投票」になってしまいました。(小淵晃会長)

マニフェスト大賞の受賞

令和元年11月8日

全国の議会部門において、議会だよりを活用して、議会改革地域活性化を進めているこ

長崎市議会までの29都道府県で、413名でした。特に大分県議会の視察には緊張しましたが、視察いただいたことに感謝し更なる議会改革に決意を新たにしました。

全国表彰の受賞

平成23年2月9日

全国町村議会議長会より地域の振興発展及び住民福祉の向上のため、議会活性化に勤めたとして表彰されました。越将俊議長が東京の授賞式に臨みました。

議員定数等検討特別委員会の設置

平成23年6月

4月に実施された議会議員選挙が無投票であったので、議会内に議員定数等検討会の設置をしました(関谷明生委員長)

議員間討議の導入

平成24年6月会議

常任委員会の従来の進行は、議案の質疑は町理事者の出席を求め議員と対面で質疑を重ねた後、その場において議案を採決しました。しかし、「議員間討議の導入」により、議案の質疑を終えた時点で町理事者に退席をいただきます。議員14名で討議を行い議案を採決いたします。その場に町理事者がいませんので忌憚のない意見が出され充実した討議を経て議案を採決します

とが評価されました。関悦子議長が東京の授賞式に臨みました。

議会政策アシスター会議の導入

令和元年9月

4月に実施された議会議員選挙が「3期連続の無投票」になってしまったため、議会は深刻に受けとめ「新たな議会活性化特別委員会」を9月20日に設置いたしました。

全国では初めて、公募の皆さんと「議会政策アシスター会議」を設置することになりました。コロナ禍の落ち着きを見てアシスターの募集に入ります。(小林一広委員長)



議会視察に全国から来町